



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社ウィッツ 上場取引所 東
コード番号 4440 URL <https://www.witz-inc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 博行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 脇田 周爾 TEL 052-220-1218
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	700	11.6	44	△38.6	52	△33.6	32	△42.0
2023年8月期第1四半期	627	19.9	71	△2.8	78	1.9	55	10.7

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 34百万円 (△39.2%) 2023年8月期第1四半期 55百万円 (9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	7.86	7.85
2023年8月期第1四半期	13.29	13.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	3,014	2,321	75.7
2023年8月期	2,923	2,311	78.1

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 2,283百万円 2023年8月期 2,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,880	15.1	190	1.5	210	△6.6	145	8.6	35.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	4,176,000株	2023年8月期	4,176,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	92,464株	2023年8月期	92,464株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	4,083,536株	2023年8月期1Q	4,169,145株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、感染症による影響も弱まり、経済活動の正常化やインバウンドの回復などにより持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ・中東地域をめぐる情勢や米中関係の地政学的リスク、主要各国での金融引き締めによる金利上昇等により、資源・エネルギー価格の高騰や円安基調の為替変動、物価上昇などの影響が見られ先行き不透明な状況が依然として続いております。

このような環境下においても、当社グループへの開発依頼は高い需要を維持しており、売上高は前年同期比増収となりました。産業分野では自動車や産業機器製造業向けの売上が大きく伸びております。技術分野ではシミュレータ・仮想空間技術の売上が落ち込んだものの、主力であります組込みソフトウェアの技術が好調に推移しました。

営業利益においては、売上高が前年同期比増収となったものの、増収に向けて外部リソース活用割合を増加させている他、給与水準の引き上げ、新規事業の推進、事業の拡大、営業活動の強化などに向けた人員の増強や拠点の整備、コロナ関連の制限緩和による出張経費の増加、人材確保に向けた採用関連コストの増加等により売上総利益率の低下と販管費が増加した結果、前年同期比減益となりました。

経常利益以下の各段階損益においては、主に営業利益が前年同期比で減益となった影響等により、前年同期比減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高700,250千円（前年同期比11.6%増）、営業利益44,172千円（同38.6%減）、経常利益52,061千円（同33.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益32,104千円（同42.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

1. ソフトウェア開発事業

当セグメントは、自動車・産業製品向けの制御ソフトウェアの受託、自動車関連のシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供、近年の電子機器装置の安全性を担保するために必要なコンサルティング・安全性分析支援などを行っております。なお、連結子会社である株式会社スクデット・ソフトウェアは当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、シミュレータ・仮想空間技術の分野の売上が落ち込んだものの、主力であります組込みソフトウェアの技術分野が好調であり、自動車向けの売上が大きく伸びた他、半導体関連装置を含む産業機械向けの売上也堅調に推移し、売上高は前年同期比増収となりました。

一方で、増収に向けて外部リソースの活用割合を増加させている他、給与水準の引き上げなどにより粗利率の低下があり、営業利益は減益となりました。

この結果、売上高は628,465千円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益（営業利益）は156,979千円（同15.4%減）となりました。

2. サービスデザイン事業

当セグメントにおいては、組込みシステム開発を通じて獲得した中核技術のノウハウを積極活用した新たな商品及びサービスの提供などを行っております。なお、連結子会社である株式会社イマジナリー及び当第1四半期連結会計期間に新たに設立した子会社である株式会社クリスタライトは当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、事業の開始から間もなく、また、サービス事業創出のための投資を行っている段階ではありますが、製造業DXであるデジタルツインなどの提供や自律製品の安全性に関する支援サービスなどにより、売上高及び営業利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は59,163千円（前年同期比323.4%増）、セグメント利益（営業利益）は19,368千円（同981.7%増）となりました。

3. その他

当セグメントにおいては、株式会社アトリエ、株式会社ヴィッツ沖縄が含まれております。

経営成績の状況としましては、自動車向けの組込みソフトウェア、セキュリティ及びセーフティの技術分野が好調に推移したため、売上高及び営業利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は67,265千円（前年同期比54.5%増）、セグメント利益（営業利益）は10,982千円（同129.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、2,257,243千円（前期末比0.0%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,762,434千円（同8.1%減）、受取手形、売掛金及び契約資産216,559千円（同20.6%増）、仕掛品118,108千円（同16.3%増）であります。

固定資産は、757,447千円（同13.6%増）となりました。主な内訳は、投資有価証券202,182千円（同0.3%増）、保険積立金163,059千円（同2.7%増）、のれん84,109千円（同2.9%減）、有形固定資産36,934千円（同12.3%減）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,014,691千円（同3.1%増）となりました。

(負債)

流動負債は、427,461千円（前期末比21.8%増）となりました。主な内訳は、賞与引当金63,144千円（同52.5%減）、買掛金60,158千円（同34.0%増）、未払法人税等23,656千円（同24.4%減）であります。

固定負債は、265,501千円（同1.9%増）となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債170,531千円（同3.0%増）、長期未払金91,495千円（前期末同額）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、692,963千円（前期末比13.3%増）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,321,727千円（前期末比0.4%増）となりました。主な内訳は、資本金612,524千円（前期末同額）、資本剰余金547,159千円（前期末同額）、利益剰余金1,212,237千円（前期末比0.0%減）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2023年10月12日に公表いたしました予想からの変更はありません。なお、当該連結業績予想及び配当予想の数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,918,611	1,762,434
受取手形、売掛金及び契約資産	179,612	216,559
仕掛品	101,518	118,108
その他	56,988	160,140
流動資産合計	2,256,730	2,257,243
固定資産		
有形固定資産	42,098	36,934
無形固定資産		
のれん	86,658	84,109
その他	13,309	25,070
無形固定資産合計	99,967	109,180
投資その他の資産		
投資有価証券	201,652	202,182
保険積立金	158,781	163,059
その他	163,983	246,090
投資その他の資産合計	524,417	611,332
固定資産合計	666,483	757,447
資産合計	2,923,214	3,014,691
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,897	60,158
未払法人税等	31,309	23,656
賞与引当金	132,949	63,144
製品保証引当金	105	99
その他	141,683	280,403
流動負債合計	350,944	427,461
固定負債		
退職給付に係る負債	165,516	170,531
長期未払金	91,495	91,495
その他	3,474	3,474
固定負債合計	260,486	265,501
負債合計	611,431	692,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	612,524	612,524
資本剰余金	547,159	547,159
利益剰余金	1,212,801	1,212,237
自己株式	△88,879	△88,879
株主資本合計	2,283,605	2,283,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△305	62
その他の包括利益累計額合計	△305	62
非支配株主持分	28,483	38,624
純資産合計	2,311,783	2,321,727
負債純資産合計	2,923,214	3,014,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	627,229	700,250
売上原価	387,753	461,380
売上総利益	239,475	238,870
販売費及び一般管理費	167,556	194,697
営業利益	71,919	44,172
営業外収益		
補助金収入	1,901	6,083
助成金収入	3,976	18
保険解約返戻金	51	473
保険事務手数料	257	244
受取手数料	13	13
その他	407	1,128
営業外収益合計	6,607	7,961
営業外費用		
自己株式取得費用	97	—
支払利息	9	—
支払手数料	20	73
営業外費用合計	126	73
経常利益	78,400	52,061
特別損失		
投資有価証券評価損	325	—
特別損失合計	325	—
税金等調整前四半期純利益	78,075	52,061
法人税等	22,153	18,406
四半期純利益	55,921	33,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	526	1,550
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,395	32,104

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	55,921	33,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	367
その他の包括利益合計	—	367
四半期包括利益	55,921	34,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,395	32,471
非支配株主に係る四半期包括利益	526	1,550

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	ソフトウェア 開発事業	サービス デザイン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	604,540	13,974	618,514	8,715	627,229
内、請負契約	293,621	3,307	296,928	6,412	303,341
内、準委任契約	203,506	10,500	214,006	—	214,006
内、派遣契約	103,112	—	103,112	2,302	105,415
内、その他	4,299	166	4,466	—	4,466
外部顧客への売上高	604,540	13,974	618,514	8,715	627,229
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	34,810	34,810
計	604,540	13,974	618,514	43,525	662,040
セグメント利益	185,512	1,790	187,303	4,793	192,096

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	618,514
「その他」の区分の売上高	43,525
セグメント間取引消去	△34,810
四半期連結損益計算書の売上高	627,229

利益	金額
報告セグメント計	187,303
「その他」の区分の利益	4,793
全社費用（注1）	△125,226
その他の調整額（注2）	5,050
四半期連結損益計算書の営業利益	71,919

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	ソフトウェア 開発事業	サービス デザイン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	627,295	59,163	686,459	13,791	700,250
内、請負契約	215,503	4,393	219,896	5,985	225,882
内、準委任契約	325,300	45,900	371,200	1,960	373,160
内、派遣契約	81,960	—	81,960	5,845	87,806
内、その他	4,531	8,870	13,401	—	13,401
外部顧客への売上高	627,295	59,163	686,459	13,791	700,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,170	—	1,170	53,473	54,643
計	628,465	59,163	687,629	67,265	754,894
セグメント利益	156,979	19,368	176,347	10,982	187,330

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

(注2) 2023年10月20日付で設立した子会社(クリスタライト社)は、「サービスデザイン事業」に含めております。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	金額
報告セグメント計	687,629
「その他」の区分の売上高	67,265
セグメント間取引消去	△54,643
四半期連結損益計算書の売上高	700,250

利益	金額
報告セグメント計	176,347
「その他」の区分の利益	10,982
全社費用(注1)	△149,242
その他の調整額(注2)	6,084
四半期連結損益計算書の営業利益	44,172

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（自己株式の取得）

当社は2023年12月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を行うものであります。

2. 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

（1）取得する株式の種類

当社普通株式

（2）取得する株式の総数

140,000株（上限）

（3）取得する期間

2023年12月15日から2024年12月14日まで

（4）取得金額の総額

140,000千円（上限）

（5）取得の方法

東京証券取引所における市場買付